

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所:地域環境活性化協議会
 編集者:代表幹事 高橋賢一
 連絡先:市民活動支援センター
 尾張旭市波川町三丁目5番地7
 (波川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

6月26日(金) 午前10時より午前11時50分
 矢田川瑞鳳橋上流 天気晴 水温27度
 湿度30%

水質パトロール調査



2009.06.26



2009.06.26

生態系をさがして何か
 採集出来るか?



2009.06.26

透視度75cm 真剣に見ている生徒

身辺な生きもの
 見つけてみよう!

名都学院の生徒35名が
 環境教育教課室で
 参加水質・水量・生態
 水辺で指標現地調査を
 実施した。
 生徒達の一言は以外に少し
 濁るが、おいは感じしな
 い不快です。
 水の汚れているのが気に
 なず、生態系がしりぞ
 根づくことが川の養分に大
 きな役割となっている。
 透視度も60cmと非常に
 良く、水辺の自然度もR
 でみん存難そうじゃ
 ました。
 小学生のサポートもこれ
 からこの生徒達が協力し
 てくれるので、Eのしみである。

波川福祉センター(サロン内で調査票を記入している生徒達)



2009.06.26

川の中流で何か見つけたか? タモで採ってほす。



2009.06.26